

「またね。」

この言葉はまほうの言葉、

あたりまえな

平和の世にするために・・・

阿閉 光太郎

12 歳

私たちが平和をつくる。

石原直

11歳

世界のみんなが

ケンカをしないで、

みんな仲よくすごせますように！

岩澤 香穂

9

歳

過去を知る勇氣は、

未来をきりひらく力だ。

宇田 果凜

14 歳

体験した人にとっては、

思い出したくない、忘れたいこと。

体験していない私たちだからこそ、

伝えられること、

伝えなければならぬこと。

内山 夏帆

13 歳

人と人が手をつないで分かりあい  
世界中に平和の花を咲かせよう。

大友 政信

13 歳

水蜜を母と分け合ふ

原爆忌

小瀬 寿恵

69 歳

忘れてはいけない、

原爆の恐さを。

知らなければいけない、

戦争の歴史を。

感じなければいけない、

今ある普通の生活が、

いかに幸せなのかを。

小田 有紗

14 歳

忘れさらられてしまうことが、

原爆による

2度目の悲劇だと思うから。

亡くなっていった命を

無駄にしないために、私は学ぶ。

鎌田 麻由子

21 歳

人の心の酷さと尊さを静かに想う

日にしたい

櫛田 智子

65 歳

忘れるのも、覚えておくのも

伝えるのも、伝えないのも 私。

でも 私の考えが

未来の世界を変えていく。

久野 さくら

14 歳

いつまでも、  
どこまでも、

記憶に残す、  
原爆の日。

久野  
みゆき

11  
歳

「原爆の日」は

記録に残すんじゃない

記憶に残すんだ。

桑田 匡登

17 歳

今、文字で未来に平和のバトンを  
つないでいくのは僕たちだ。

青空の向こうから、

バトンをつなぎ終わった人も、

これからつないでいく人も

見守っている。

栗原 稜

12 歳

あの日

たぐさんの人の眼から

涙となった魂たちが

こぼれおちた

小林  
みず生

11  
歳

あの日亡くなった「二人の男性」。

ずっと会えるのを待っていた

子どもから見れば

「たった一人のお父さん」だった。

佐尾山 千鶴  
15 歳

原爆を知り、

今のこの「あたりまえ」が

ふわふわして、危うい

「奇跡」に思えた。

だけど、平和が「普通」な世界に  
なるといい。

澤谷  
みら

13  
歳

被爆者からのバトンを  
私たちから次の世代へ。

清水

鈴々花

12

歳

消えた優しい笑顔と

楽しげな笑い声は

今でも

虹がかかった青空となつて

見守っている。

清水 智香

11 歳

原爆はおそろしい。

ぼくらの目から見る被爆地は、

ずっと遠くに見えるかも知れない。

でも、僕の心の中にある被爆地は

いつも近くにある。

皆もそうであってほしい。

そして、あの日を

決して忘れてはいけない。

ぜつぼうの光が

いっしゆんにして消す

大切なもののがやく光

高橋  
和花

12  
歳

「日常」を壊してはいけない。

「青空」を黒くぬり変えては

いけない。

「日常」は

「日常」のままであること、

「青空」が青いままであること、

それが「平和」ということ。

瀧川 友珠

13 歳

うけつごろう

体験者がいなくなったら

私達の番。

田中 慈央

13 歳

戦争のおそろしさから

目をそらすのではなく、

そのおそろしさを

深く学び語りつぐことが、

ここから始まる

平和になる。

道法

大喜

12

歳

忘れない。ではなく

語りあおうよ 原爆の日

とこ

47  
歳

一人一人の熱い思い

一人一人の熱い願い

あの日を忘れない

平和への道のり

中野 和貴

12 歳

平和。

それってたぶんキセキだ。

堀野 直緒

14 歳

この鳩が

いつまでも飛び続けられるように、

私たち一人ひとりが

このつみを忘れないように

次の世代に語りつぐことが大切だ

増田 怜花

12 歳

被爆者は

いまも苦しんでいるでしょう。

ぼくたちは

その悲しみや苦しみを知りません。

なのでその分、

ぼくたちには出来ることを

行動に移したいです。

なぜなら今も原爆によって

苦しんでいる人がいるのだから。

焼けた空見るたび思い出す

原爆の日

安田 杏妃

11 歳

原爆投下 一秒前は

いつも通りの日常だった

山田 秀美

11 歳

